

なまはげ館：解説 山の神説

男鹿の人々は長きにわたって、真山と本山を聖なる地として崇拝し、そこには村の守護神が住まうと考えてきました。なまはげはこれらの神々の使いとされており、なまはげが毎年年末に「山から降りてくる」という設定も、なまはげとこれらの神聖な山々のつながりをさらに強調するものです。真山を含む男鹿周辺のいくつかの村では、なまはげが被る仮面は赤く、これはなまはげが「赤神」の使いであることを示すものです。ここでは赤い色は山を指すものです。また赤は男鹿の赤神神社などの地名にも見られます。赤神とは「赤い神」を意味します。